



タイムアクシスデザインは、モノ・コトづくりに時間軸を導入することで、新たな価値を創生するための新しい理論・方法論であるとともに、思想でもあります。ここでは、21世紀のモノ・コトづくりに必要となる「タイムアクシス(時間軸)」を積極的に取り入れたデザインの理論から実践について議論を行います。

皆様のご参加をお待ちしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

JSMEタイムアクシスデザイン研究会/JSDEタイムアクシスデザインに関する研究調査分科会/JSSDタイムアクシスデザイン研究部会/デザイン塾

デザイン塾：タイムアクシスデザインの枠組みづくりに向けて

デザイン塾HP: <http://www.designjuku.jp/>

- 共催 : 日本機械学会 タイムアクシスデザイン研究会 (幹事)
日本設計工学会 タイムアクシスデザインに関する研究調査分科会
日本デザイン学会 タイムアクシスデザイン研究部会
デザイン塾
- 日時 : 平成 28年 7月 8日(金), 13:00~18:00
- 会場 : 慶應義塾大学矢上キャンパス
第1部: 創想館(14棟)201教室 第2部: 創想館(14棟)7階フォーラム
- 参加費 : 無料
- 登録 : WEBでお申込み下さい <http://designjuku.jp/post-mail/>
- 問合せ先: 慶應義塾大学 松岡研究室秘書 (matsuokalab.m@gmail.com) へご連絡下さい。
- 日程 : 下記参照(時間帯は目安であり、都合により変更となる可能性もございます)

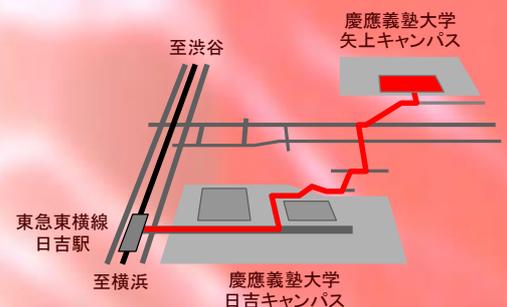
□第1部 「タイムアクシスデザイン」に関する講演(13:00~14:30) @14棟201教室 司会: 加藤 健郎(慶應義塾大学)

- 「タイムアクシスデザインへの誘い(仮)」(13:00~13:30)
・松岡 由幸(慶應義塾大学)
- 「タイムアクシスデザインへの期待(仮)」(13:30~14:00)
・小林 昭世(武蔵野美術大学)
- 「デザイン評価の時間軸と普遍性(仮)」(14:00~14:30)
・佐藤 弘喜(千葉工業大学)

□休憩・移動(14:30~14:45)

□第2部 「タイムアクシスデザインの枠組み」に関する座談会(14:45~18:00) @14棟7階フォーラム 司会: 加藤 健郎

- 「タイムアクシスデザインの枠組み作りに向けてどう切り込んで行くか? (仮)」(14:30~14:45)
・梅田 靖(東京大学)
- 「材料に着目した時間に伴う質感変化の試み-「モノづくり」+「モノつかい」の産業化に向けて-(仮)」(14:45~15:00)
・寺内 文雄(千葉大学)
- 「製品サービスシステムのタイムアクシスデザイン-共創を加速するコンテキスト・場・シナリオのモデリング-(仮)」(15:00~15:15)
・下村 芳樹(首都大学東京)
- 「System of Systems アーキテクチャの進化に対応したマネジメント(仮)」(15:15~15:30)
・西村 秀和(慶應義塾大学)
- 「時間を通してデザインを考える(仮)」(15:30~15:45)
・佐藤 啓一(イリノイ工科大学)
- 参加者全員によるディスカッション(15:45~16:30)
- ポスターセッション & 懇親会(16:30~18:00)
 - ・「価値成長モビリティシステムにおける基本アーキテクチャの導出」
旗野 宗一郎(慶應義塾大学), 西村 光雄(慶應義塾大学大学院), 上嶋 一徳(慶應義塾大学大学院), 戸田 敬介(慶應義塾大学大学院), 古那 了(マツダ(株)), 加藤 健郎, 西村 秀和, 松岡 由幸
 - ・「Mメソッドに基づく新デザインシステムの機能提案」
余部 昇太(慶應義塾大学), 向井 翔太(慶應義塾大学), 安本 雄貴(慶應義塾大学大学院), 榮 佑馬(慶應義塾大学大学院), 井関 大介(ソニー(株)), 松岡 由幸
 - ・「実際に使いたいと感じるデジタルサイネージ」
川添 実(慶應義塾大学大学院), 斎藤 美佳(慶應義塾大学大学院), 小木 哲朗(慶應義塾大学大学院)
 - ・「Mメソッドによる座り心地研究の特徴分析及び未研究領域の抽出」
金 侖慧(慶應義塾大学), 岡本 裕輝(慶應義塾大学大学院), 有田 実花子(慶應義塾大学大学院), 平尾 章成(日産自動車(株)), 松岡 由幸
 - ・「プラスチックの価値成長デザイン」
小鯖 智之(慶應義塾大学), 前田 真里奈(慶應義塾大学大学院), 畑 政貴(慶應義塾大学大学院), 松岡 由幸
 - ・「曲率エントロピーおよび曲率積分を用いた形状特性の定量化」
松本 大志(慶應義塾大学), 加藤 健郎, 小林 昭世, 松岡 由幸



※アクセス詳細: <http://www.st.keio.ac.jp/access/>